

苫小牧市総合戦略推進会議

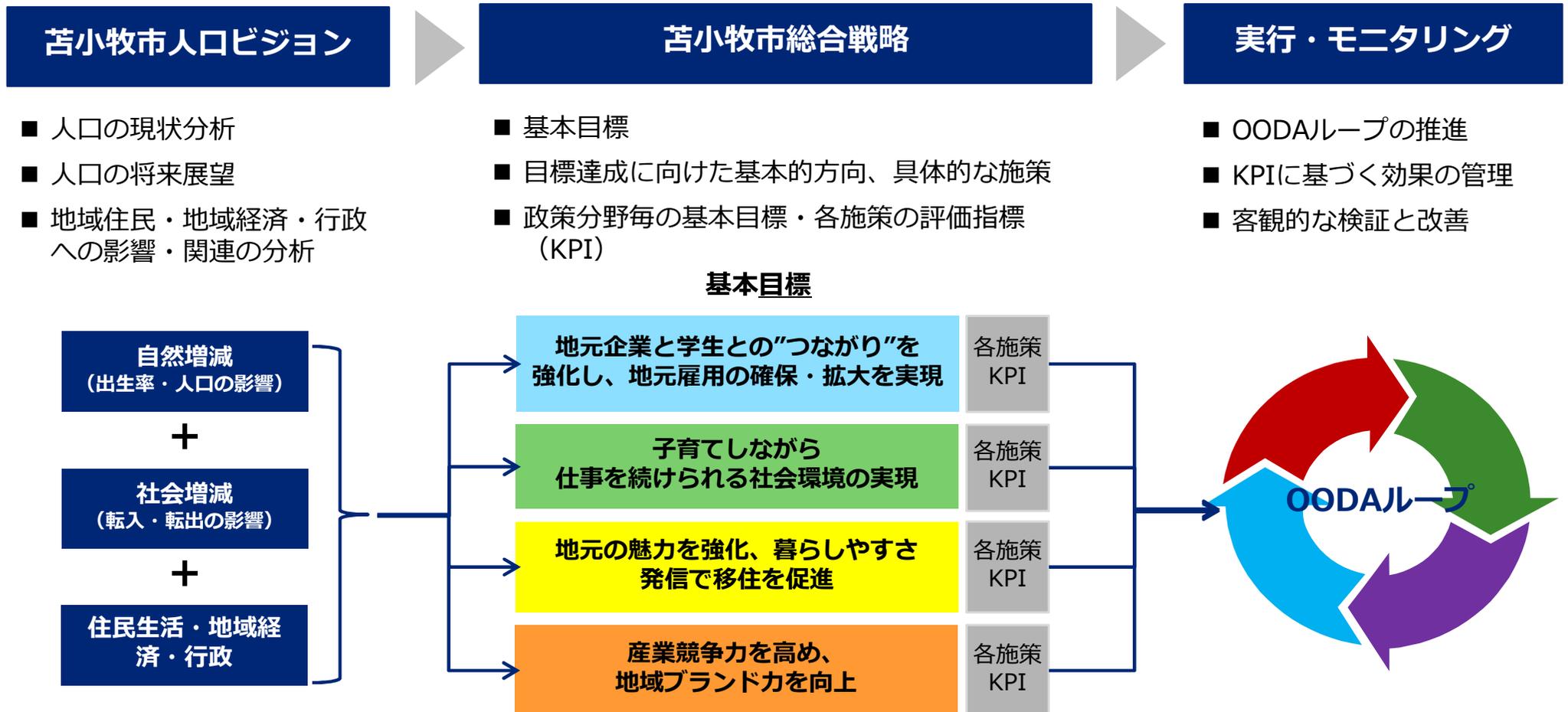
令和4年度第1回会議資料

2022年10月6日（木） 14時から
【5階 第2応接室】

01 | 本日の開催目的について

人口ビジョン実現のための総合戦略策定、そして、進行管理へ

人口ビジョン・総合戦略からモニタリングに係る全体像



苫小牧市総合戦略 中間年の見直しについて

苫小牧市総合戦略【第2期】の計画期間 令和2年度（2020年度） ～ 令和6年度（2024年度）



背景

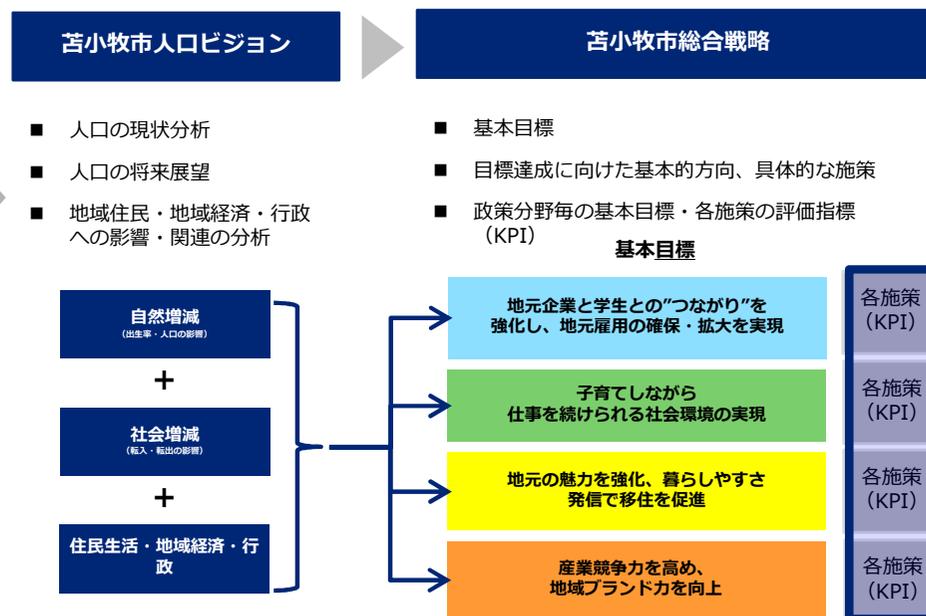
現行の第2期苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略は令和2年3月に策定され、令和6年度までの5年間を期間として定めている。

第2期が開始するとほぼ同時に新型コロナウイルス感染症の流行に伴う緊急事態宣言が発令されており、現在まで感染拡大防止の観点から総合戦略で定める一部の事業で中止や規模の縮小などの影響が出ている。

今年度、計画期間の中間年であり、カーボンニュートラル等の要請や新型コロナウイルス感染症の影響といった社会経済情勢の変化を踏まえ、第2期総合戦略の見直しを実施する。

中間見直しの内容

- 苫小牧市人口ビジョン、苫小牧市総合戦略の基本目標は変更しない。
- 4つの基本目標に紐づく各施策や事業、数値目標、KPIについて、中間見直しを行う。



02 | 令和3年度の取組

基本目標 1 地元企業と学生との“つながり”を強化し、地元雇用の確保・拡大を実現

現状と課題

苫小牧市内から市外の転出の統計データを年齢別にみると、大学進学や就職の時期に多くの若者が市外（特に札幌市や首都圏）へ転出していることがわかる。

その状況から若年層（20歳代）の転出抑制及び転出者の再転入を促す雇用環境の充実が課題となっている。

基本目標と施策の基本的方向

- 市内の高校・大学等に通う学生が地元企業を知り、興味を持つ機会を設け、企業の認知度を高める。
- 若者をはじめ、働きたい人が働くことができ、地元企業の雇用を確保・拡大できるよう支援するとともに、市内創業者（起業家）の創出・育成を図る。
- Society5.0の実現に向けた未来技術の活用を促進する。

基本目標における数値目標

項目	H30基準	R2実績	R3実績	R4-5	R6目標	達成状況
新規雇用創出数	46人	34人	79人	⇒	累計230人	34.3%
管内学生の管内事業所就職割合	45.53%	48.30%	45.99%	⇒	50%	92.0%
新規創業者割合	17%	40%	43%	⇒	19%	226.3%

基本目標

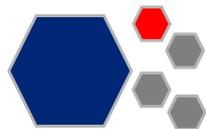
地元企業と学生との“つながり”を強化し、地元雇用の確保・拡大を実現

施策の基本的方向

- 1-1 若者の雇用機会の確保・拡大
- 1-2 学生と地元企業との“縁づくり”促進
- 1-3 創業支援
- 1-4 Society5.0実現の推進

施策1

若者の市内就職の促進



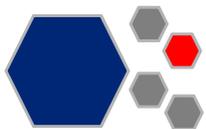
- UIJターン希望者等の市内就職に向け、都市部で合同就職説明会を開催し、市内企業の人材確保を支援するとともに、企業で行う職場体験や実務研修などの実施により、若者の市内就職を促進する。
- 地域の中小企業等の人材確保及び首都圏から本市へのUIJターンによる就業・起業の促進を図る。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30年)	実績値 (R2年)	実績値 (R3年)	目標値 (R6年)	達成状況
合同就職説明会事業	内定者数 (人) 【累計】	9	0	7	40	17.5%
若者人材育成事業	就職者数 (人) 【累計】	6	7	16	30	53.3%
若者地元定着促進事業	登録者数 (人) 【累計】	-	10	28	50	56.0%
UIJターン新規就業支援事業	マッチングサイト求人掲載数 (件)	-	23	37	100	37.0%
介護人材確保支援事業	就職者数 (人) 【累計】	12	15	30	75	40.0%
介護職員育成支援事業	育成支援人数 (人) 【累計】	29	35	63	200	31.5%

施策2

学生と地元企業との交流・連携機会の創出



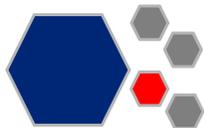
- 無料就職マッチングサイトにより、市内外の学生をはじめ、求職者に市内企業の魅力や求人情報を広く周知する。
- 高校生等を対象とした職場見学とバスツアーを開催するなど、学生と地元企業が出会う機会を設ける。
- 地元企業と連携し、小学生を対象とした疑似的な就労体験イベントを実施する。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30年)	実績値 (R2年)	実績値 (R3年)	目標値 (R6年)	達成状況
就職マッチング支援事業	掲載企業数 (社)	63	308	427	450	94.9%
就職チャレンジ支援事業	参加者数 (人) 【累計】	289	39	94	1,450	6.5%
キッズタウン開催事業	参加企業・団体数 (社)	24	0	0	27	0.0%
関係機関と連携した各種取組の展開	参加者数 (人) 【累計】	355	42	111	1,800	6.2%

施策3

苫小牧における創業支援



- ・ 苫小牧市内での創業希望者に対して、創業前後に必要な支援を実施する。
- ・ 関係する機関（商工会議所、金融機関等）と連携し、創業希望者に対して支援を行う。
- ・ 女性のエンパワーメントや潜在層の起業支援、起業後の交流の場を設けるなど、女性活躍に向けた取組を促進する。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	基準値 （H30年）	実績値 （R2年）	実績値 （R3年）	目標値 （R6年）	達成状況
創業サポート事業	新規創業セミナー参加者数（人）	69	54	48	72	66.7%
創業等相談窓口の機能強化	相談件数（件）	825	918	1,627	870	187.0%
女性活躍促進事業	事業参加者数（人）	-	0	130	150	86.7%

施策4

Society5.0の実現に向けた技術活用の支援



- ・ 全国的に労働人口の減少が進む中で、市内企業が抱える課題・ニーズへの解決や新規事業を創出するため、先進的な技術やサービスを導入する企業を支援する。
- ・ 市の取組として、定型業務へのRPA導入、問い合わせ業務のAI化などにより業務効率化を図る。
- ・ 安全・安心なまちづくりのさらなる取組として、消防活動のICT化を検討する。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	基準値 （H30年）	実績値 （R2年）	実績値 （R3年）	目標値 （R6年）	達成状況
苫小牧イノベーション活性化事業	補助件数（件）【累計】	-	9	13	30	43.3%
行政サービスのICT化	業務削減時間(年間)（時間）	-	1,400	1,500	1,000	150.0%
消防活動のICT化	ロボット等の導入数（式）	-	0	0	1	0.0%

現状と課題

現在の合計特殊出生率を維持しても人口は減ることから、合計特殊出生率をさらに上げ、出生数を増加させなければ、人口減少の抑制は難しい。そこで、出産や子育てしやすい環境を整備するとともに、子育ての経済的負担感の軽減が課題となっている。

基本目標と
施策の基本的方向

- 子育ての負担を軽くする社会の実現を目指し、世代や性別を超えた子育て支援を推進する。
- ワーク・ライフ・バランスの推進を図り、働きやすい環境を整備する。
- 社会の変化に対応する体験学習の機会、地域資源をいかした体験プログラムの充実により、子育てにとって良質な環境を提供する。

基本目標における数値目標

項目	H30基準	R2実績	R3実績	R4-5	R6目標	達成状況
合計特殊出生率（-）	1.56	⇒	⇒	⇒	1.8	—
子育て環境や支援の満足度（5段階評価）	2.9	⇒	⇒	⇒	3.3	—

基本目標

子育てしながら
仕事を続けられる
社会環境の整備

施策の基本的方向

2-1

仕事と子育ての両立支援

2-2

出産・子育てしやすさを実感できる支援

2-3

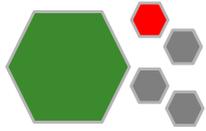
苦小牧らしい教育プログラム形成支援

2-4

ワーク・ライフ・バランスの促進

施策5

ワーキングマザー&ファザーの子育て応援



- 子育て中の母親・父親向けに講座の実施や出産・育児と両立に向けた支援することで、出産・子育てを理由とした離職を減らす。
- 子育ての物理的・経済的な負担を軽くすることで、「子どもが欲しい」「もう一人産みたい」の希望をかなえる。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30年)	実績値 (R2年)	実績値 (R3年)	目標値 (R6年)	達成状況
父子健康手帳交付事業	交付件数 (件)	1,226	1,187	1,019	1,300	78.4%
	子育て応援教室の参加件数 (組)	24	41	40	50	80.0%
小規模保育施設整備事業	開設数 (施設)	6	9	11	15	73.3%
小規模保育施設	入所児童数 (人)	117	174	219	316	69.3%
なでしこ就職応援事業	就職者数 (人) 【累計】	19	12	26	85	30.6%
放課後児童クラブの充実	登録児童数 (人)	1,434	1,617	1,535	1,383	111.0%
	クラブ数 (クラブ)	39	39	40	39	102.6%
多子世帯給食費助成事業	支給者数 (人)	-	443	426	500	85.2%

施策6 子育て支援・保育サービスの充実



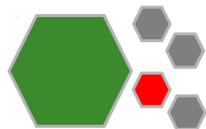
- 全ての子どもが心身ともに健やかに成長できる環境整備を図り、地域社会全体における子育て支援事業の充実を推進する。
- 多子世帯家族にとって負担の大きい、保育料の無償化（3人目）や不妊治療及び不育症に係る助成を行うなど、経済的な負担軽減を図る。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	基準値 （H30年）	実績値 （R2年）	実績値 （R3年）	目標値 （R6年）	達成状況
地域子育て支援事業	プレールーム利用数（人）	35,761	15,504	12,817	36,000	35.6%
	育児相談件数（件）	668	106	278	700	39.7%
	サークルルーム登録団体数（団体）	25	20	21	30	70.0%
一時預かり事業	保育所型の利用児童数(延べ人数)	4,524	3,539	2,390	6,165	38.8%
	幼稚園型の利用児童数(延べ人数)	4,272	4,053	3,745	4,055	92.4%
ファミリー・サポート・センター事業	登録会員数（件）	1,611	1,596	1,539	1,650	93.3%
	活動件数（件）	4,478	1,717	1,080	4,000	27.0%
子育て世代包括支援センター事業	相談件数（件）	561	804	765	570	134.2%
	ケアプラン作成（件）	344	373	416	350	118.9%
	産婦健康診査受信件数（件）	-	1,026	962	1,250	77.0%
3人目の保育料等の無料化	市独自の無償化対象児童数（人）	275	247	252	270	93.3%
特定不妊・不育症治療費等助成事業	特定不妊治療費助成件数（件）	132	140	202	180	112.2%

施策7

苦小牧の地域資源をいかした体験学習・地域づくりの推進



- 豊かな感性と人間性を持つ子どもを育成するための体験学習の機会と環境の整備を図る。
- 郷土とまこまいの魅力ある地域づくりを推進し、地元自慢・愛する心を育みます。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30年)	実績値 (R2年)	実績値 (R3年)	目標値 (R6年)	達成状況
体験プログラムの充実	体験プログラム参加人数 (人)	10,179	5,500	5,705	12,000	47.5%
	体験プログラム実施回数 (回)	228	155	133	250	53.2%
アウトリーチ推進事業	事業数 (事業)	34	24	27	40	67.5%
苦小牧アートフェスティバル事業	ワークショップ参加者 (人)	571	0	0	1,000	0.0%
市民・団体研修派遣事業	研修派遣者数 (人) 【累計】	3	0	0	15	0.0%

施策8

「ワーク・ライフ・バランス」を重視した職場の整備



- ワーク・ライフ・バランスへの取組促進に向けた各種啓発を実施し、企業の従業員の意欲、能力、創造性を引き出して生産性の向上を図るとともに、優秀な人材の確保・定着への土壌をつくりだす。
- 少子化の抑制、労働人口の確保など、社会全体の活性化を図る。
- 北海道で初めて「イクボス宣言」をした本市の取組を民間企業へと水平展開するため、民間との合同により研修を実施する。

各種事業の進捗状況

※赤色枠は令和2年度をもって事業終了。

事業名・事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30年)	実績値 (R2年)	実績値 (R3年)	目標値 (R6年)	達成状況
ワーク・ライフ・バランス等企業表彰	表彰企業数 (社) 【累計】	4	3	事業終了	20	—
官民合同研修事業	研修参加延人数 (人)	-	0	0	300	0.0%

3 地元の魅力を強化、暮らしやすさ発信で移住を促進

現状と課題

今後の人口移動をめぐっては、全国的に人口が減少する中で、他都市（札幌や首都圏）との競合が一層激しくなる可能性がある。そこで、これまで以上に本市の魅力や暮らしやすさをアピールし、「苫小牧市に移り住みたい」というイメージを維持・拡大していく必要がある。

また、イメージだけでなく、実際に地域コミュニティの活性化や生活利便性の向上など、生活環境の改善も併せて進めていく必要がある。

基本目標と
施策の基本的方向

- ・ 苫小牧出身者を本市に戻ってくる可能性のある層（移住のターゲット）として捉え、将来的なUターンにつなげる。
- ・ 定住人口と交流人口に加え、その中間に位置する関係人口を増やすとの観点から、スポーツの振興、合宿誘致などを通じて本市に興味を持ち、繰り返し足を運んでもらえる機会を設ける。
- ・ 進学や就職期に本市を離れた方が「郷土とまこまい」に戻ってきたいと思わせる環境づくりを推進する。

基本目標における数値目標

項目	H30基準	R2実績	R3実績	R4-5	R6目標	達成状況
転入者数（定住人口数）（人）	6,122	5,772	5,965	⇒	6,600	90.4%
観光入込客数（万人）	199.5	142	148	⇒	260	56.9%
「苫小牧市は住みやすい」と回答した人の割合（%）	33.1	—	—	⇒	40.0	—

基本目標

地元の魅力を
強化、暮らしやすさ
発信で移住を促進

施策の基本的方向

3-1

苫小牧出身者のネットワーク化支援

3-2

交流人口・定住人口の拡大支援

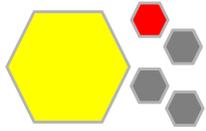
3-3

“とまごころ（地元自慢・愛する心）”の普及

3-4

関係人口の創出

施策9 苫小牧出身者への継続的な情報発信の拡充

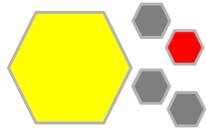


- ・ 苫小牧出身者は、将来的に結婚や子育てを機に本市にUターンする可能性があることから、本市が持つ様々な魅力を配信する。
- ・ 暮らしの情報や空き家情報、求人情報等をホームページやSNS（フェイスブック等）、本市出身者が集う場を活用して発信し、出身者が気軽に地元の情報に触れられる環境を整える。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	基準値 （H30年）	実績値 （R2年）	実績値 （R3年）	目標値 （R6年）	達成状況
旬のとまごまい情報の発信事業	HPアクセス数・FBリーチ数（件）	8,969,733	11,516,324	16,080,853	9,500,000	169.3%
同窓会組織への情報発信	情報発信回数（回）【累計】	-	3	5	15	33.3%

施策10 移住者の受入れ体制の充実



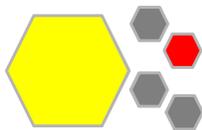
- ・ 移住希望者に対して、本市の生活環境や子育て環境などの情報や相談窓口の一元化を行い、効果的な情報発信と相談支援を行う。
- ・ 空き家の情報の整理・発信や空き家への入居支援を行う。
- ・ 本市への移住後の生活がイメージできるよう、移住希望者の要望に応じたオーダーメイド型の移住相談（市内案内）を実施する。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	基準値 （H30年）	実績値 （R2年）	実績値 （R3年）	目標値 （R6年）	達成状況
移住情報発信事業	イベント等での情報発信者数（人）【累計】	54	56	109	250	43.6%
移住体験プログラム	移住ガイド参加者数（人）【累計】	2	1	13	30	43.3%

施策11

ご当地イベントを活用した交流人口の創出



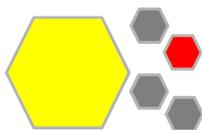
- 本市の貴重な自然や産業施設をいかしたイベントとして定着してきた「コスプレフェスタ」や、アニメ等のコンテンツを活用した新たな観光イメージをPRし、交流人口の更なる獲得につなげる。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30年)	実績値 (R2年)	実績値 (R3年)	目標値 (R6年)	達成状況
とまこまいコスプレフェスタ	来場者数人 (人)	16,000	500	2,000	17,000	11.8%
とまこまいフィルムコミッション事業	ロケーション撮影数 (件)	14	19	12	20	60.0%
アニメツーリズム推進事業	観光案内所取扱グッズ売上高 (万円)	127	96	140	1,000	14.0%

施策12

縁結びコーディネート機能の充実

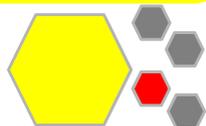


- 結婚を機とした移住者を増やすべく、苫小牧市内在住の男性又は女性と市外在住者（札幌市民など）とのマッチングを行う。
- （とましん結婚相談所と連携した）メンター機能を強化し、結婚希望者への支援を行う。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30年)	実績値 (R2年)	実績値 (R3年)	目標値 (R6年)	達成状況
苫小牧縁結びサポート助成事業	婚姻率 (%)	4.8	4.6	4.2	6.0	70.7%
	とましん結婚相談所登録者数の結婚数 (組) 【累計】	32	45	45	55	81.8%
届け出挙式	挙式回数 (組) 【累計】	4	4	5	20	25.0%

施策13 郷土の魅力を伝える活動の推進



- 子どもから高齢者までの全ての市民が、本市の地域資源の魅力を知り、郷土とまごまいへの理解を深めるとともに、地元自慢・愛する心（とまごころ）の醸成につなげる。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	基準値 （H30年）	実績値 （R2年）	実績値 （R3年）	目標値 （R6年）	達成状況
苫小牧図柄入りナンバープレート	交付数（件）	－	2,197	3,277	2,500	131.1%
とまチョップ水事業	販売・配布本数（本）	92,000	64,272	61,104	120,000	50.9%
氷上スポーツ事業	スケートエンジョイスクール参加人数（人）	3,957	1,430	472	4,000	11.8%
	アイスホッケーコース参加人数（人）	594	309	158	600	26.3%
	スピードスケート体験教室参加人数（人）	276	138	205	250	82.0%
町内会スケートリンク経費助成事業	リンク設置数(カ所)	6	5	5	7	71.4%
国際少年アイスホッケー中学生交流事業	参加人数(人)	46	0	0	50	0.0%

施策14 苫小牧との継続的なつながりを持つきっかけづくりの推進



- スポーツ合宿等を通じて、本市の「ファン」を増やし、地域の課題解決にも関わってもらえる地域外の人々とのネットワークを拡げる取組を推進します。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	基準値 （H30年）	実績値 （R2年）	実績値 （R3年）	目標値 （R6年）	達成状況
ふるさと納税事業	リピーター率（%）	18.8	29.3	27.3	30.0	90.8%
はちとまネットワーク推進事業	アイスホッケー事業参加人数(人)【累計】	40	0	0	200	0.0%
スポーツ合宿等補助事業	スポーツ合宿件数(件)	155	28	62	160	38.8%
	スポーツ合宿宿泊数(泊)	10,726	2,399	2,651	12,000	22.1%
全国高校選抜アイスホッケー大会	出場団体数(団体)【累計】	28	0	26	140	18.6%

4 産業競争力を高め、地域ブランド力を向上

現状と課題

本市の人口推移は製造業をはじめとする企業進出の影響が大きく、人口減少局面に突入した時代においては、更なる競争力の向上が喫緊の課題。

産業集積地である本市は、世界的な景気の影響や社会環境の変化により、常に（国際的な）地域間の競争にさらされていると言える。

基本目標と
施策の基本的方向

- ・ 戦略的な企業誘致の推進及び進出企業に対するフォローアップを進める。
- ・ 多様な産業の集積を推進し、産業の高度化を目指すとともに、地域間連携による産業振興を進める。
- ・ 国際観光リゾートなどの新しい産業の誘致を図りつつ、豊かな自然環境との調和を図り、快適な都市環境を確保する。

基本目標における数値目標

項目	H30基準	R2実績	R3実績	R4-5	R6目標	達成状況
新規企業進出件数（5年間累計）（件）	16	17	17	⇒	20	—
「働く場」としての魅力度（%）	40.5	—	—	⇒	50.0	—

基本目標

産業競争力を高め、
地域ブランド力を向上

施策の基本的方向

4-1

進出・立地企業へのサポート機能の強化

4-2

多様な産業集積（高度化）の推進

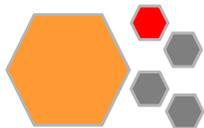
4-3

地域間連携の促進

4-4

充実した都市機能と豊かな自然の共生

施策15 進出・立地企業への支援強化



- 立地企業が抱えている人手不足、人材確保等の課題やニーズに対して、継続的に意見交換・情報共有を図るとともに、課題解決に向けて連携・協力・支援を行う。
- 外国人労働者をはじめ、外国籍市民の受入体制の充実、地域との共生を図るため、相談窓口を設置するほか、緊急通報時や救急活動時の多言語通話サービスを導入する。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30年)	実績値 (R2年)	実績値 (R3年)	目標値 (R6年)	達成状況
事業拡大・販路拡大支援事業	展示会等への出店経費補助件数(件)【累計】	10	4	10	50	20.0%
人材確保支援事業	就職セミナーへの出店経費等の補助件数(件)【累計】	5	24	41	25	164.0%
職場環境改善事業	労働環境改善等のための経費補助件数(件)【累計】	19	27	31	100	31.0%
外国人相談窓口設置	サロン利用者数(人)	1,678	435	679	2,000	34.0%
離職防止処遇改善事業	処遇改善企業数(件)【累計】	65	40	91	150	60.7%
緊急通報・救急活動時の多言語通話サービス導入	同時通訳・翻訳アプリ導入割合(%)	—	100	100	100	100.0%

施策16

地理的優位性をいかした企業誘致の促進



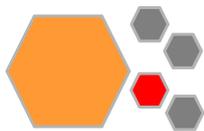
- 新規立地及び企業の設備投資を呼び込むために、必要なインフラ整備を行うとともに、企業のニーズに応じた助成金制度により企業活動を支援し、多様な産業分野における企業進出を促進する。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	基準値 （H30年）	実績値 （R2年）	実績値 （R3年）	目標値 （R6年）	達成状況
新千歳空港の機能充実と国内・国際航空輸送ネットワークの拠点形成	国内路線(路線)	28	31	31	31	100.0%
	国外路線(路線)	19	27	0	34	0.0%
企業立地振興条例助成金	事業場設置助成金(千円)	252,943	176,557	168,159	304,494	55.2%
	雇用助成金(千円)	30,600	3,900	10,500	29,400	35.7%
	緑化助成金(千円)	—	0	0	10,000	0.0%
苫小牧港管理組合負担金	貨物取扱量(外貿)(千t)	17,550	13,812	16,034	22,144	72.4%
	貨物取扱量(内貿)(千t)	89,895	86,486	88,743	89,606	99.0%

施策17

広域連携事業の推進



- 東胆振定住自立圏における地域間の連携を促進し、本市が持つ都市機能と近隣自治体が持つ魅力や強み（豊かな自然・第一次産業等）を深掘りするとともに、その価値を内外に発信する。
- 近年、多発する広域災害への備えを広域圏で進めるとともに、災害発生後の復旧・復興はもとより、経済活動の停滞（風評被害など）を回避するための取組を連携して実施する。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	基準値 （H30年）	実績値 （R2年）	実績値 （R3年）	目標値 （R6年）	達成状況
新千歳空港を核とした地域活性化の推進	新千歳空港旅客数(千人)	23,632	6,436	9,229	27,830	33.2%
広域連携による地域ブランド推進	地域ブランドの合同PR回数(回)【累計】	6	1	1	20	5.0%
防災体制の充実	備蓄品充足率（%）	79	92	94	100	94.0%

施策18

持続可能な都市機能及び自然と共生した国際観光リゾートの形成



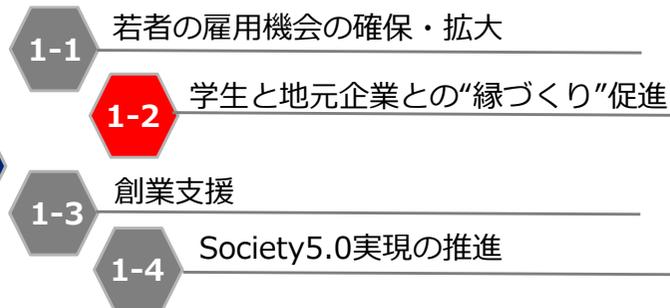
- 豊かかつ貴重な自然を観光資源とした、国際観光リゾートなどの新しい産業の誘致により、投資を呼び込む機能を高め、新規雇用を創出するとともに市内への移住を促進する。
- Society5.0が掲げる新技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、持続可能な都市機能の整備として、市民や来訪者がストレスなく目的地への移動が可能となる、ICTを活用した交通サービス導入の検討を進める。
- 近年、多発する広域災害から安全・安心を確保するため、市民への情報発信の強化に取り組む。

各種事業の進捗状況

事業名・事業の内容	重要業績評価指標（KPI）	基準値 （H30年）	実績値 （R2年）	実績値 （R3年）	目標値 （R6年）	達成状況
苫小牧版MaaS構築事業	次世代モビリティサービスの実装提供件数(件)【累計】	—	0	0	3	0.0%
防災行政無線整備事業	屋外スピーカー設置基数(基)	25	127	127	130	97.7%
国際観光リゾートの形成	訪日外国人宿泊延べ人数(人泊)	35,780	778	未発表	42,560	—
ごみ分別アプリ事業	アプリダウンロード数（%）	—	2	5	20	25.0%

基本目標

施策の基本的方向

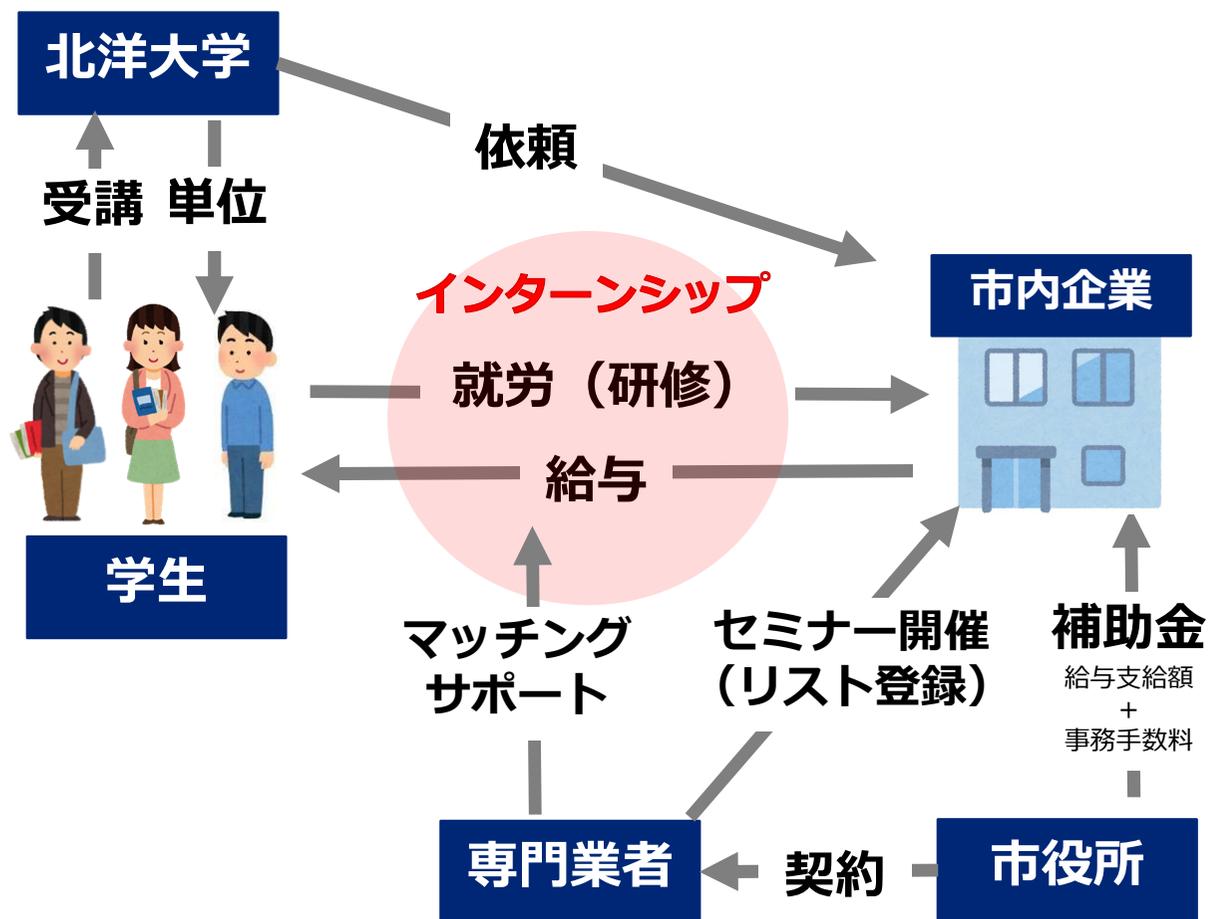


市内大学インターンシップ支援事業【R4新規事業】

目的

本市は、進学及び就職時期における若者の転出超過が多く、市外流出の抑制が課題となっている。市内唯一の4年制大学である北洋大学における市内企業へのインターンシップを支援することにより、学生の市内企業の認知度向上を図り、もって市内企業への就職を促進することを目的とする。

イメージ



効果

学生が地域の企業とつながり、
地元に着定する好循環を創出

- 学生の市内企業に対する知名度を向上（縁づくり）
- 北洋大学における実践的な教育プログラムの実現
- 市内企業における市内大学生の採用促進
- ミスマッチによる早期離職を解消

03 | 人口の動向について

03 | 人口の動向について

人口の推移

人口 → 令和4年7月末の人口は、前年比1,011人マイナスで168,802人となっており、人口減少が続いている。

自然動態 → 死亡数が出生数を上回る自然減が平成23年から続いており、数も年々増加している。

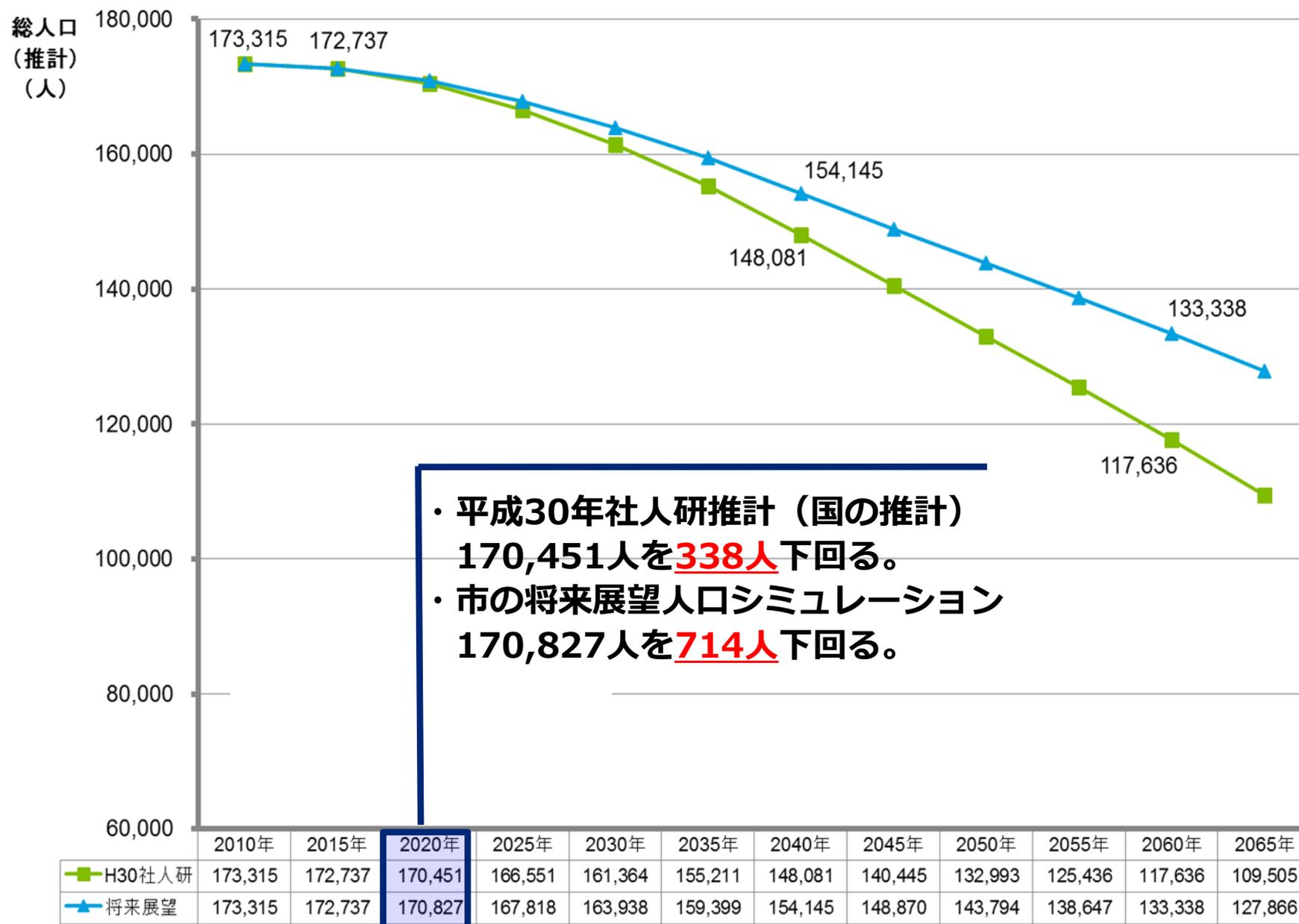
社会動態 → 令和3年度、転入が転出を234人上回っており、社会動態はプラスに転じている。

年次	世帯数	人口				自然動態			社会動態		
		総人口	前年比	老年人口 (65歳以上)	高齢化率	出生	死亡	増減数	転入	転出	増減数
平成29年 (2017年)	87,716	172,373	▲ 762	47,410	27.50%	1,255	1,816	▲ 561	5,792	6,000	▲ 208
平成30年 (2018年)	88,545	171,811	▲ 562	48,603	28.29%	1,243	1,859	▲ 616	6,122	6,070	52
令和元年 (2019年)	89,460	171,242	▲ 569	49,365	28.83%	1,146	1,927	▲ 781	6,166	5,978	188
令和2年 (2020年)	89,992	170,205	▲ 1,037	49,973	29.36%	1,152	1,970	▲ 818	5,772	5,997	▲ 255
令和3年 (2021年)	90,525	169,528	▲ 677	50,538	29.81%	1,051	1,962	▲ 911	5,965	5,731	234
令和4年7月 (2022年)	90,978	168,802	▲ 1,011	50,696	30.03%	-	-	-	-	-	-

※人口は各年12月末の住民基本台帳人口（外国人住民を含む。）

03 | 人口の動向について

推計との比較 令和2年国勢調査【確報値】 **170,113人**

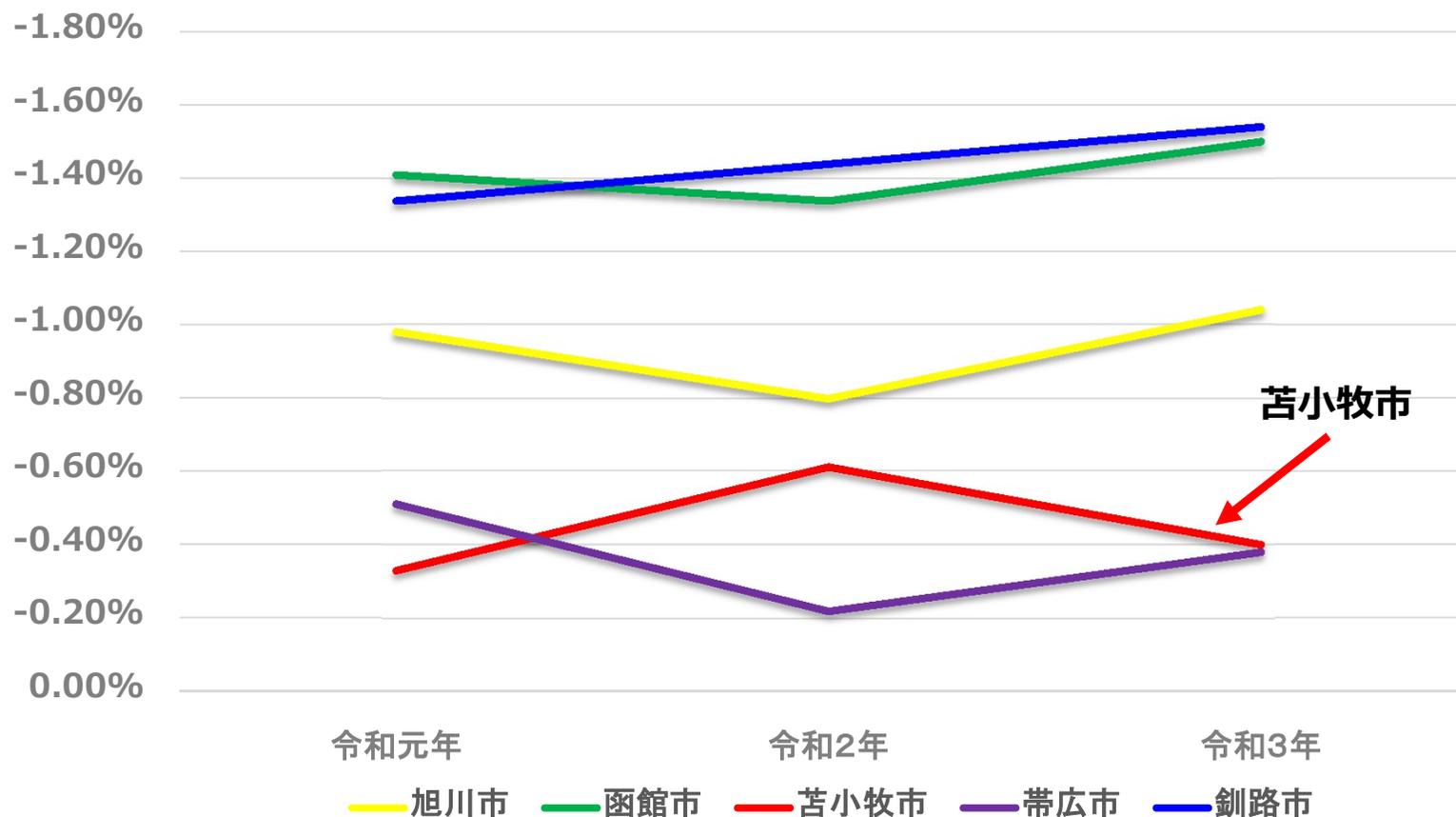


03 | 人口の動向について

道内他都市人口の推移

年次	旭川市	函館市	苫小牧市	帯広市	釧路市	自治体
令和元年 (2019年)	334,070 ▲ 3,322 (-0.98%)	255,308 ▲ 3,640 (-1.41%)	171,242 ▲ 569 (-0.33%)	166,043 ▲ 846 (-0.51%)	168,086 ▲ 2,278 (-1.34%)	人口 前年比 (増減率)
令和2年 (2020年)	331,397 ▲ 2,673 (-0.80%)	251,891 ▲ 3,417 (-1.34%)	170,205 ▲ 1,037 (-0.61%)	165,670 ▲ 373 (-0.22%)	165,667 ▲ 2,419 (-1.44%)	人口 前年比 (増減率)
令和3年 (2021年)	327,960 ▲ 3,437 (-1.04%)	248,106 ▲ 3,785 (-1.50%)	169,528 ▲ 677 (-0.40%)	165,047 ▲ 623 (-0.38%)	163,110 ▲ 2,557 (-1.54%)	人口 前年比 (増減率)

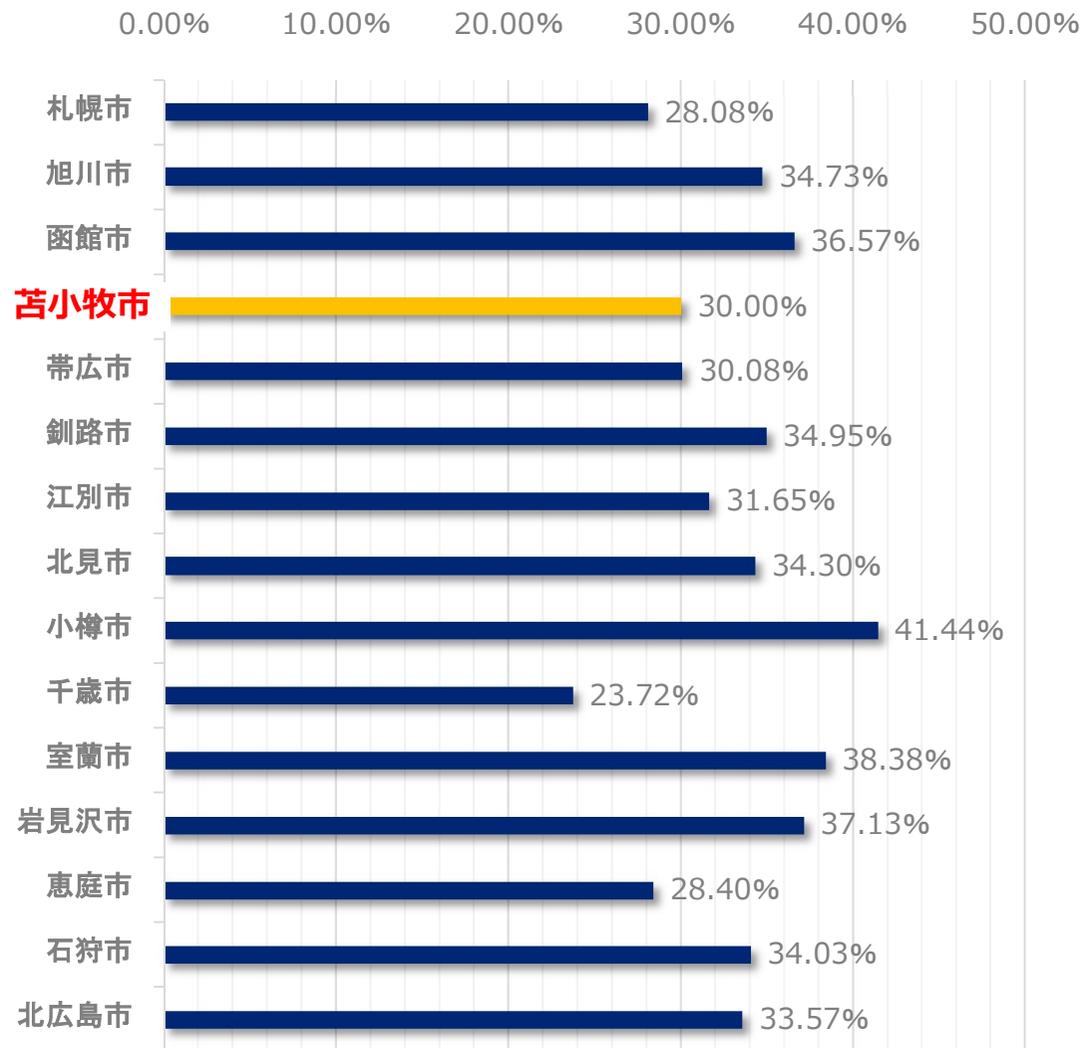
道内他都市人口減少率の推移



03 | 人口の動向について

道内主要都市の高齢化率比較（人口上位15市／令和4年5月末現在）

人口順位	市町村名	人口総数	高齢者人口総数	高齢者割合	高齢化率順位
1	札幌市	1,958,694人	549,947人	28.08%	2
2	旭川市	325,865人	113,166人	34.73%	10
3	函館市	246,220人	90,040人	36.57%	12
4	苫小牧市	168,857人	50,655人	30.00%	4
5	帯広市	164,450人	49,467人	30.08%	5
6	釧路市	161,706人	56,524人	34.95%	11
7	江別市	119,393人	37,786人	31.65%	6
8	北見市	113,748人	39,017人	34.30%	9
9	小樽市	109,495人	45,373人	41.44%	15
10	千歳市	97,469人	23,116人	23.72%	1
11	室蘭市	78,599人	30,169人	38.38%	14
12	岩見沢市	77,419人	28,743人	37.13%	13
13	恵庭市	70,253人	19,951人	28.40%	3
14	石狩市	57,979人	19,730人	34.03%	8
15	北広島市	57,567人	19,326人	33.57%	7



※苫小牧市、千歳市、室蘭市は令和4年6月末現在の数値

※札幌市、石狩市は令和4年4月末現在の数値

04 | 中間見直しに係る基本的視点

04 | 中間見直しに係る基本的視点

1 人口減少の加速化

- 人口ビジョンで定める将来展望を下回るスピードで人口減少が進んでいることを意識し、引き続き、人口減少に歯止めをかける取組を強化する必要がある。

2 社会環境の変化

- 世界的に取組が行われているSDGsやカーボンニュートラル等、新たな世界基準を考慮する。
- 新型コロナウイルス感染症による社会の変化を的確に把握し、ウィズコロナ・アフターコロナに適したものと見直す必要がある。

3 新しい取組

- ゼロカーボンやDX（デジタルトランスフォーメーション）など、新しく始まった取組を踏まえた内容にする。

4 他の計画との関連

- 苫小牧市総合計画をはじめとする各種計画との整合性がとれている内容にする。

05 | 今後のスケジュール

05 | 今後のスケジュール

内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
第1回推進会議	●						
見直し案作成作業	→						
第2回推進会議			●				
見直し案修正			→		→		
パブリックコメント					※1 →		
市議会に提出					●		
第3回推進会議						● ※2	
一般公表							● ※3

※1 パブリックコメントについては、見直し案の内容によっては実施しない場合があります。

※2 第3回推進委員会は書面による完成報告を予定しております。

※3 完成版の公表は令和5年4月1日を予定しております。